

子どもたちの笑顔を守る「つながり」

休校が続く、不安な日々を過ごしていた子どもたちに向けて、様々な分野から支援する体制を整えています。
豊島区は、子どもたちのいきいきとした活動を地域全体でサポートしていきます。



学

7月下旬以降、一人1台タブレットパソコン体制を整備します！ 「どこでも」「だれでも」「どの教科でも」！ICTを活用した学習支援

休校や分散登校が続く中、区内小・中学校ではオンライン上のクラスルームを開設し、家庭にある端末を用いて子どもたちとつながりました。今後一人1台タブレットパソコン体制により、学校でも、家庭でも学べる環境を整え、子どもの学びの保障を確保します。 〇 庶務課庶務グループ ☎3981-1141

ICT活用方法

- 学校で受けることができなかった授業の補習
- 習熟度に応じた学習支援
- 外国籍の児童・生徒に対する支援
 - ・ 通訳を交えたオンライン指導による学習不安などの解消
- 不登校児童生徒などに対する支援
 - ・ Meet(ビデオ通話アプリ)を通じた教師との関係づくり
 - ・ オンライン指導を通じた学習不安の解消



interview



高南小学校
校長 田中 明先生
休校が続く子どもたちと直接会えないなか、ピンチをチャンスに変えるという気持ちで、保護者の皆さんにも協力いただきながら、オンライン上のクラスルームやMeetの活用を進めてきました。全員にインターネット環境が整備されるまでの間は、リアルタイムでMeetに参加できない子どもたちにも情報が共有できるように工夫しています。GIGAスクール構想の実現に向けて、まずは私たち学校側も、子どもたちもICTを活用することに慣れていければと思います。これからの学校での活動を補うことができるよう、効果的に活用できる方法を探していきたいです。



高南小学校
一柳祐太先生
オンライン上のクラスルームが開設されてからは、毎日健康観察を行い、週に1回Meetというビデオ会議ができるツールを使いながら、クラスのみならず顔を合わせる時間を設けました。初めてMeetを行ったとき、画面越しの子どもたちの表情からうれしさが伝わり、離れていても顔を見てやりとりすることができて安心しました。しりとりやじゃんけんなど、みんなでコミュニケーションをとり、一人ひとりの声を聞くことができる活用方法を探っています。実践してよかったことや工夫が必要なことなど、ほかの先生たちと共有しながら、取り組んでいきたいです。

心

みんなの居場所、中高生センタージャンプ

中高生センタージャンプは、中高生がつくる中高生のための居場所です。音楽を聴いたり、卓球をしたり、友だちと話したり、のんびりしたり…過ごし方は人それぞれです。忙しい日常の中でふらっと立ち寄り、ありのままの自分になれるひと時を過ごしています。(写真は昨年度の様子です)



長崎

▲みんな思いのひと時を過ごしています



▲中高生にとってハードルの高い料理もみんなで一緒に作ることで、生きる力を身に付けます



東池袋

▲バスケ3on3大会や卓球大会など自分たちがやりたいと思うイベントを、自分たちで企画・実施していきます

動画やSNSでの配信を始めました！

動画で配信！

ジャンプ長崎では、YouTubeで施設や活動紹介の動画を配信しています。「何か困ったことがあればジャンプを思い出して欲しい！」というメッセージを込めて作成しました。



▶昨年度は中央図書館で「イマドキの中高生」をテーマに展示を行い、中高生が実際に図書館で選んだ本を紹介しました。

▲展示で紹介した本はこちらをご覧ください！



SNSで配信！

ジャンプ東池袋では、公式Twitter、Instagramを開設しました！開館状況、イベント情報だけでなく、活動の様子をお伝えします。ぜひ投稿を見てください！

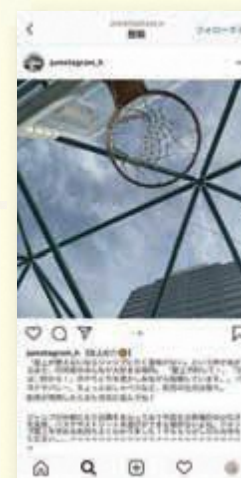
[Instagram]



[Twitter]



▶みんなに大人気！屋上や音楽スタジオの空き状況も配信していきます



全力でアシストします！子ども若者相談窓口「アシストしま」

アシストしまは子どもとおむね39歳までの若者を対象とした総合相談窓口です。相談すると、「怒られる、説教される、解決しなきゃいけない」と思いませんか？今思っていることや不安なことなどを話すだけでもいいです。そのあとのことは一緒に考えていきましょう。まずはお気軽にご相談ください。

〇 アシストしま(区役所本庁舎4階子ども若者課)
☎4566-2476 〇 A0017309901@city.toshima.tokyo.jp



食

おいしいごはん健康をサポート！としまランチサポートプロジェクト

NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワークを中心に、外出自粛中の子育て家庭をサポートするために、22か所の区民ひろばで就学援助家庭やひとり親世帯にお弁当やパン、野菜などを無料で配布しています。栄養価の高い食事による子どもたちの健康維持だけではなく、メールなどで申込みを受け付ける際に、各家庭の生活のニーズを把握し、必要な支援につなげていきます。
〇 当法人 ☎090-3519-3745
〇 info@toshimawakuwaku.com
〇 子ども若者課地域支援グループ ☎3981-2187



interview

NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
理事長 栗林 知絵子さん
新型コロナウイルス感染症の影響により飲食店や給食業者、障害者の就労支援施設から売り先がないお弁当やパンを子どもに配布できないかという話がありました。私たちは2年前から、食べられるのに企業が廃業する食材や、各家庭で余っている食材をひとり親家庭に届ける「パントリーピックアップ」という取り組みをして、その地盤があったからこそ、すぐに動くことができました。私たちは地域のニーズと資源をただ繋げているだけなんです。お弁当を受け取りに来た高校生から「姿の見えない私のことを、気にかけてくださり有り難うございます」と書いたハガキをもらいました。応援している人が地域にたくさんいること、困ったときは相談すればいいんだなということが、少しでも伝わればいいなと思っています。いろんなところで優しくされた経験をする中で、子どもたちが大きくなったときに、地域に優しくできると思うんですね。



▲困ったときに相談できる窓口の案内を、お弁当と一緒に渡しています。